

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第12週(3月17日～3月23日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	10週	11週	12週	12週	12週
インフルエンザ	2.25	3.75	2.00	1.72	1.98
新型コロナウイルス感染症	8.50	5.00	3.00	3.13	3.23
RSウイルス感染症	2.33	2.00	1.33	2.02	1.18
咽頭結膜熱	2.00	1.67	2.00	0.53	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.67	4.67	3.33	1.98	1.96
感染性胃腸炎	19.00	●22.33	●20.33	7.70	9.04
水痘	0.67	0	0	0.19	0.32
手足口病	0	0	0	0	0.04
伝染性紅斑	0	0	0	0.23	0.67
突発性発疹	0	0	0	0.16	0.18
ヘルパンギーナ	0.33	0	0	0	0.01
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.05	0.03
急性出血性結膜炎				0	0.08
流行性角結膜炎				0.38	0.83
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.08	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.03
マイコプラズマ肺炎	2.00	2.00	4.00	0.42	0.27
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0.17	0.20

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】

感染性胃腸炎を予防しましょう

第12週の報告数は331人で前週より99人少なく、定点当たり報告数は「7.70」でした。地区別にみると、県北地区「20.33」は警報レベルの報告数となっています。

年齢別では、10～14歳(47人)、2歳(36人)、6歳(36人)の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。予防には手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、積極的な感染防止に努めましょう。

【トピックス】

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意しましょう

第12週の定点当たり報告数は「1.98」、県北地区は「3.33」と県より多くなっています。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱(高熱)、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。症状がある場合は、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染防止に努めましょう。